



住まいの防犯アドバイス

オランダで暮らしていると、風景がのどかなせいか、安全だという錯覚に陥りがちです。けれども、実際には空き巣などの被害に遭われた方は身近にもおられます。そんな方々の体験談をもとに、防犯のポイントをまとめてみました。参考になさってください。

被害に遭いやすいのはどんな時？

特定できません。昼間、買い物や子どもの送り迎えで30分ほど家を空けている間・一時帰国や旅行の最中・夜間、寝静まったところに階下で被害に遭うケースもあります。家にいる時も油断は禁物です。行動パターンを事前にチェックされていることもあるので、決まった曜日・時間に外出する際には、特に防犯を心がけましょう。

夜間の犯行のみならず、近年は日中の犯行も増えてきているようです。日照時間の短い冬場は被害も多くなります。日本人を狙ったケースもあるので、旅行や一時帰国で留守にする時期も危険だと考えた方が良いでしょう。

引越しの前後も、特に注意が必要です。

狙われやすいのはどんな家？

空き巣は、出入り口や窓の周辺に目隠しとなるような植え込みや立木、物置、板囲いのある家を好みます。複数の鍵や頑丈な錠前のついた家・外灯のある家を敬遠します。犯罪を誘発する要因があることに気がついた時には、オーナーに相談してみましょう。

空き巣の手口は？

空き巣は、そこに住む人の行動をチェックし、侵入する機会を待ちます。電話番号を調べ、不在を確認することもあるようです。不審な電話が続くようなら、警察に相談しましょう。侵入には、ドライバーなどの工具を使用されることが多く、鍵が1つしかない場合には30秒しかかからないそうです。リビングや寝室を集中的に物色し、宝石や貴金属・現金・パソコンなどを狙います。住人が戻ってきてもすぐに入れないよう、表玄関にチェーンをかけたり、鍵を壊していく悪質なケースもあるようです。

万が一、空き巣と鉢合わせした場合には、相手が武器になるものを持っている可能性もある為、抵抗や攻撃してはいけません。その場は逃がして、すぐに警察に通報します。

日頃の心がけや対策は？

- 外出するときには、短時間でも面倒がらずに鍵をかける。就寝前の施錠も忘れない。
- ドアにはメインの鍵の他に、上下にもピンタイプの鍵をつけると良い。ドライバーなどでこじあけられないよう、ドアと壁の隙間をスリッパで塞いでおくと安心。
- 外出時は電気やテレビなどを付け、人が中にいるように思わせる工夫をする。夜間の外出や長期不在のときは、タイマー式の灯をセットする。
- 玄関や裏口周辺に外灯をつける。侵入口となる玄関や窓の周辺には、身を隠すことができるような大きな物を置かない。はしご類も侵入を促すため、置きっ放しにしない。
- 旅行や一時帰国などで長期不在となる場合には、近所の信頼できる人に郵便物や新聞の取り込みを依頼する。日ごろからの近所づきあいが大切。
- 庭は最低限手入れした状態にしておく。荒れ放題にすると長期不在だと思われ、危険が増す。
- 玄関付近に隠しておいた鍵は、見つかる可能性が高い。
- 貴重品は、わかりにくい場所に分散して保管した方がよい。リビングルームや寝室にある引き出しは開けられ易い。
- 家財保険に入っておく。補償額には上限があるので、全額が補償されるわけではない。保険に加入したら、貴重品リストを作成し、領収書や鑑定書を保管しておく。あらかじめ貴重品の写真を撮っておくのも良い。
- クレジットカードやIDカード、パスポート、免許証類は、番号を控えておく。
- 名簿の管理に気をつける。
名簿作成の際には、住所の部屋番号をひらがな・漢字表示にして外国人にわかり難くする。廃棄の際には細かく破る等の配慮をする。盗んだパソコンから名簿を抽出して、日本人家庭を狙うという手口もあるそうなので、パソコン内の名簿も同じような配慮が必要。

被害に遭ってしまったら・・・

ただちに警察へ通報する。キャッシュカードやクレジットカードを盗られた場合には、すぐに銀行やカード会社の緊急連絡先に連絡し、カードをブロックしてもらおう。保険に加入している場合には、保険会社へも連絡を入れる。警察は緊急の場合は112、その後0900-8844（アムステルダム、アムステルフェーン、アウトホールン、アールスメアなど周辺地域共通）へ連絡する。

